

# 編修趣意書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29-38	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
27 教芸	音Ⅲ 305	Joy of Music		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に定められた教育の目標を踏まえ、芸術科音楽Ⅲにおける知識・理解を深めて思考力・判断力・表現力等をバランスよく育成するために、次のような基本方針に基づいて編修しました。

### ①幅広い知識と教養を身に付ける

芸術科音楽Ⅲの学習を通して幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、学習指導要領に示された「内容」を網羅しました。

### ②基礎的な内容を確実に習得する

演奏する際の注意点や、音楽用語の読み方とその意味を必要に応じて掲載し、音楽の能力が確実に定着するようにしました。

### ③主体性や創造性を育む学習に取り組む

生徒一人一人の主体性や創造性を育むうえで特に大切な「創作」やアンサンブル活動の学習内容を吟味し、グループ活動等によって主体的に「協働」しながら確実に学習を進めることができるようにしました。

### ④我が国や世界の音楽文化のよさを味わいながら豊かな心を育む

我が国の音楽文化、また世界の音楽文化の特徴を感じ取ることを通して、それらのよさを味わうことができるようにしました。それによって、我が国の音楽文化に誇りをもつとともに、他国の音楽文化に対しても同様に尊重する態度を養えるようにしました。

### ⑤ユニバーサルデザインを目指した内容やデザインにする

全ての生徒にとって、分かりやすく取り組みやすい教科書となるよう、教材の難易度や文章の内容について細やかな配慮をしました。また、色の見分けがつきにくい生徒にとっても学習上の支障が生じないように、当事者のチェックを受けています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな音楽的感性や情操を育成することのできる教材を選択・配列しました。(第一号)</li> </ul>	p.4～109
歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな言語に興味・関心をもつことのできるように、英語やイタリア語、ドイツ語、中国語、ロシア語の歌唱教材を取り上げました。また、他国の文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第一号及び第五号)</li> <li>他人を思いやったり自然を愛したりする心を育てる教材や、道徳的観点と関連付けて取り上げることのできる教材を含めました。(第一号、第三号及び第四号)</li> <li>世代を超えて親しみ、歌い継いでいくという趣旨を生かした学習が行われるよう、日本の歌曲や「子どもの歌」を多く掲載しました。また、それぞれの歌詞で歌われている風景に情趣を感じる心を養い、自然の大切さや環境保全の意義についても考えることができるようにしました。(第一号及び第四号)</li> <li>グループ活動によって、協働しながら学習を進めることのできる教材を含めました。(第三号)</li> </ul>	<p>p.24 《Sento nel core》  p.28 《Vaghiissima sembianza》  p.30 《An Silvia》  p.32 《Sonntag》  p.48 《Now, O Now, I Needs Must Part》  p.70 《Vissi d'arte, vissi d'amore》  p.73 《I Need To Be In Love》  p.74 《We Are The Champions》  p.76 《You Raise Me Up》  p.78 《Annie Laurie》  p.79 《Land Of Hope And Glory》  p.94 《草原情歌》  p.94 《Очи чёрные》</p> <p>p.4 《時代》  p.12 《かやの木山の》  p.14 《初恋》  p.16 《たあんき ぼーんき》  p.22 《ロマンチストの豚》  p.56 《島人ぬ宝》  p.58 《春よ、来い》  p.59 《WINDING ROAD》  p.62 《Stand Alone》</p> <p>p.12 《かやの木山の》  p.14 《初恋》  p.16 《たあんき ぼーんき》  p.18 《霧と話した》  p.21 《三月のうた》  p.22 《ロマンチストの豚》  p.34 《鳩》  p.34 《小ぎつね》  p.35 《大きなくりの木の下で》  p.35 《どんぐりころころ》  p.36 《とんぼのめがね》  p.37 《にじ》</p> <p>p.59 《WINDING ROAD》  p.68 《All I Ask of You》  p.69 《The Point of No Return》  p.72 《メリー・ウィドウ・ワルツ》  p.74 《We Are The Champions》  p.76 《You Raise Me Up》  p.78 《Annie Laurie》  p.79 《Land Of Hope And Glory》  p.80 《ほたるこい》  p.82 《宇宙戦艦ヤマト》</p>

<p>器楽教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和楽器の学習活動を通して、我が国の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わえるようにしました。(第五号)</li> <li>グループ活動によって、協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第三号)</li> </ul>	<p>p.52 《箏二重奏のための 日本のわらべうたつづり》</p> <p>p.54 《長束祭太鼓》</p> <p>p.55 「箏」</p> <p>p.55 「篠笛」</p> <p>p.56 《島人ぬ宝》</p> <p>p.57 「三線」</p> <p>p.38 《ピンク・パンサーのテーマ》</p> <p>p.40 《ミッション:インポッシブルのテーマ》</p> <p>p.42 《G線上のアリア》</p> <p>p.46 《間奏曲》</p> <p>p.48 《Now, O Now, I Needs Must Part》</p> <p>p.50 《3つのジムノペディ》第1番</p>
<p>創作教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習目標と学習内容を明確に示すとともに、グループ活動によって協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第二号及び第三号)</li> </ul>	<p>p.86 「体を使った音でストーリーを表現しよう」</p> <p>p.88 「ファンファーレをつくろう」</p>
<p>鑑賞教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国や郷土の伝統音楽を明確な学習の観点から学ぶことができるようにしました。(第五号)</li> <li>他国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、世界各地の伝統的な音楽を取り上げました。(第五号)</li> <li>さまざまなジャンルの音楽に親しむ態度を育成し、幅広い知識を身に付けられるようにしました。(第一号)</li> <li>作曲家の生涯を通して、時代背景や職業及び生活との関連を考察できるようにしました。(第二号)</li> </ul>	<p>p.90 《俊寛》～能、文楽、歌舞伎による違いを感じ取ろう～</p> <p>p.92 「世界の祭り ～収穫への祈り～」</p> <p>p.66 ミュージカル《オペラ座の怪人》</p> <p>p.96 「音楽の要素とイメージをつなげよう」</p> <p>p.97 「ルネサンスの音楽」</p> <p>p.98 「バロックの音楽」</p> <p>p.99 「古典派の音楽」</p> <p>p.100 「ロマン派の音楽」</p> <p>p.101 「ロマン派の伝播」</p> <p>p.102 「新たな音楽美の萌芽」</p> <p>p.103 「20世紀の音楽」</p> <p>p.104 「曲の背景を知ってロマン派以降の交響曲を聴こう」</p> <p>p.106 「ショパンの生涯と作品をたどろう」</p>
<p>その他の教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い知識と教養を身に付け、道徳心を培うことができるよう、コラムや読み物を豊富に取り入れました。(第一号)</li> </ul>	<p>p.27 「伴奏者に求められること」</p> <p>p.27 「生涯にわたって音楽に親しもう」</p> <p>p.77 「リメイクとカバー」</p> <p>p.95 「ルールを守って音楽を楽しもう -著作権について-</p> <p>p.114 「倍音の不思議」</p>
<p>口絵資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアニストの演奏を支えるピアノ調律師に焦点を当て、音楽に関わる職業に興味・関心をもつことができるよう配慮しました。(第一号及び第二号)</li> <li>生命を尊び、自然を大切に作る心や、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成することができるよう、日本各地に伝わる芸能を取り上げました。(第四号及び第五号)</li> </ul>	<p>口絵 iii 「ピアノ調律師 ～スペシャリストに聞く～」</p> <p>口絵 v 「日本の祭り ～収穫への祈り～」</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ①我が国の音楽文化

我が国の音楽文化について取り上げる際には、我が国や郷土を愛する心を育むことができるよう、その背景や生活との関わりなども示しました。



口絵 v・vi

#### ②各学校の実態に合わせて選択することができる教材

音楽Ⅲで想定されるさまざまな授業形態に合わせて、より多面的な学習活動を展開することができるようにしました。合唱曲については同声(女声・男声)や混声等、さまざまな曲態の教材を掲載しました。さらに、和楽器については箏、篠笛、太鼓、三線を取り上げました。

##### 歌唱

日本の歌曲	かやの木山の／初恋／たあんきぼーんき／霧と話した／三月のうた／ロマンチストの豚
外国の歌曲	イタリア歌曲:Sento nel core/Vaghissima sembianza ドイツ歌曲:An Silvia/Sonntag
子どもの歌(弾き歌い)	鳩／小ぎつね／大きなくりの木の下で／どんぐりころころ／とんぼのめがね／にじ
日本のポップス	時代／島人ぬ宝／春よ、来い／WINDING ROAD／Stand Alone
外国のポップス	I Need To Be In Love／We Are The Champions／You Raise Me Up
舞台芸術の歌	ミュージカル《オペラ座の怪人》:All I Ask of You／The Point of No Return オペラ《トスカ》:Vissi d'arte, vissi d'amore オペレッタ《メリー・ウィドウ》:メリー・ウィドウ・ワルツ
アンサンブルと合唱	You Raise Me Up (同三)／Annie Laurie (混四ア・カペラ)／Land Of Hope And Glory (同三)／ほたるこい(同三ア・カペラ)／宇宙戦艦ヤマト(男四ア・カペラ)
外国の民謡	草原情歌／Очи чёрные

##### 器楽

鍵盤楽器	ピアノ連弾:ピンク・パンサーのテーマ／ミッション:インポッシブルのテーマ キーボード・アンサンブル:G線上のアリア
リコーダーとギター	リコーダー:アイネ・クライネ・ナハトムジーク(第2楽章)／亡き王女のためのパヴァーヌ／間奏曲 リコーダー+ギター:Now, O Now, I Needs Must Part ギター:《3つのジムノペディ》第1番
和楽器	箏:箏二重奏のための日本のわらべうたつづり 篠笛+太鼓:長東祭太鼓 三線:島人ぬ宝

### ③関連のあるページへのリンク

教材と関連のある楽曲や資料などのページにリンクを張り、生徒が興味・関心をもって音楽の理解をいっそう深めることができました。

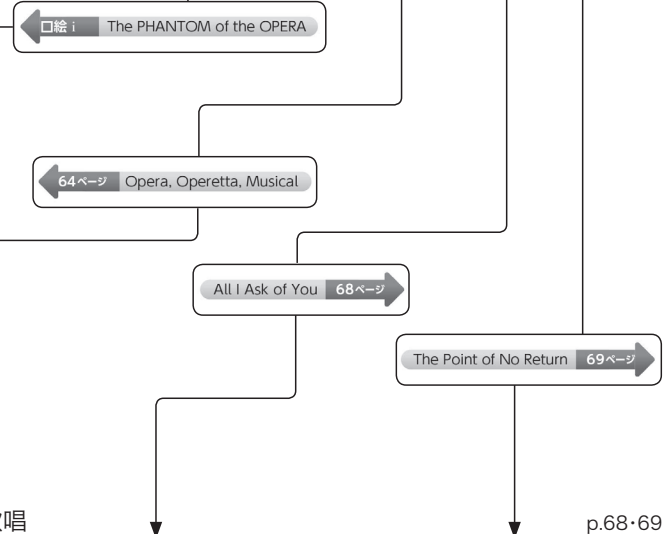
資料(舞台写真)

口絵 i・ii



鑑賞

p.66-67



コラム

p.64・65

### ④読譜や記譜の能力の育成

音楽を豊かに表現するために必要な基礎的な能力(楽譜を見て音高、音程、リズム、フレーズなどを捉えながら演奏したり、音を聴き取ったりする能力)を育成することができるよう、「ソルフェージュ」を掲載しました。

p.8-9

p.10-11

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29-38	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
27 教芸	音Ⅲ 305	Joy of Music		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ①基礎的・基本的な知識、技能の習得への配慮

生徒が主体的に楽しく学ぼうとする意欲をもつことができるよう内容を充実させました。教材によっては、演奏する際の注意点や、音楽用語の読み方とその意味を必要に応じて掲載しました。また、ページ間にリンクを張ることで音楽の理解をいっそう深め、それらを関連付けることにより音楽の能力が確実に定着するようにしました。

### ②表現と鑑賞の一体化を図る

音楽文化に関わる知識をいっそう深めるために、表現と鑑賞を一体化させて活動を展開することができるようにしました。「まず演奏し、その後に鑑賞して音楽のよさをさらに味わう」「鑑賞して感じ取ったことを生かし、自分たちの演奏を工夫する」など、常にフィードバックして学習することができるよう配慮しました。

### ③言語活動の充実

鑑賞活動においては根拠をもって批評したり、それらを論じ合ったりする際のヒントとなるよう「鑑賞のポイント」を具体的に提示しました。また、プレゼンテーションをしながら言語活動に取り組めるよう、音楽の要素とイメージをつなげやすい教材を配置しました。

### ④音楽文化に関する学習の充実

我が国の伝統音楽や長く歌い継がれてきた日本の歌の学習を通して、日本人としての自覚をもち、我が国とその音楽文化について理解を深めることができるよう内容を充実させました。また、諸外国のさまざまな音楽に触れるとともに、我が国の音楽との関連や違いについても理解することができるよう配慮しました。

### ⑤生涯にわたって音楽への愛好心を育む

教材が一つの地域や時代、ジャンルに偏ることのないよう留意するとともに、幅広い教材を通して多様な音楽に接することができるよう配慮しました。また、生涯にわたって音楽への愛好心を育むことができるよう、新しい音楽と出会った際に役立つコラムや資料を豊富に掲載しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										
		A 表現						B 鑑賞				
		(1) 歌唱		(2) 器楽		(3) 創作						
		ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ウ	エ	
		楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。	様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりを理解して鑑賞すること。	現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。	音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞すること。	生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。	
ページ	教材名											
i	The PHANTOM of the OPERA	「音楽Ⅰ」の「内容の取扱い」(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわり						●			●	
iii	ピアノ調律師 ～スペシャリストに聞く～	「音楽Ⅰ」の「内容の取扱い」(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわり										
v	日本の祭り～収穫への祈り～	「音楽Ⅰ」の「内容の取扱い」(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわり						●		●	●	
4	時代	●	●									
6	《50の小ソルフェージュ集》第1番	●	●									
7	女王のエチュード	●	●									
7	Exercise 発声練習	●	●									
8	ソルフェージュ	「音楽Ⅰ」の「内容の取扱い」(3) 視唱と視奏及び読譜と記譜										
12	かやの木山の	●	●									
14	初恋	●	●									
16	たあんき ぼーんき	●	●									
18	霧と話した	●	●									
21	三月のうた	●	●									
22	ロマンチストの豚	●	●									
24	Sento nel core (私は心に感じる)	●	●									
27	伴奏者に求められること			●	●							
27	生涯にわたって音楽に親しもう	「音楽Ⅲ」の目標 生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度										
28	Vaghissima sembianza (かぎりなく優雅な絵姿)	●	●									
30	An Silvia (シルヴィアに)	●	●									
32	Sonntag (日曜日)	●	●									
34	鳩	●	●	●	●							
34	小ぎつね	●	●	●	●							
35	大きなくりの木の下で	●	●	●	●							
35	どんぐりころころ	●	●	●	●							
36	とんぼのめがね	●	●	●	●							
36	コード・ネームを基に伴奏を工夫しよう			●	●							
37	にじ	●	●	●	●							
38	ピンク・パンサーのテーマ			●	●							
40	ミッション：インポッシブルのテーマ			●	●							
42	G線上のアリア			●	●							
45	アイネ・クライネ・ナハトムジーク (第2楽章)			●	●							

図書の構成・内容		学習指導要領の内容									
		A 表現						B 鑑賞			
		(1) 歌唱		(2) 器楽		(3) 創作					
		ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ウ	エ
		楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。	様々な音楽材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	音楽の構造上の特徴と美しさとのかわりを理解して鑑賞すること。	現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。	音楽と他の芸術や文化とのかわりを理解して鑑賞すること。	生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。
ページ	教材名										
45	亡き王女のためのパヴァーヌ			●	●						
45	リコーダーの運指表				●						
46	間奏曲			●	●						
48	Now, O Now, I Needs Must Part(今こそ別れ)	●	●	●	●						
50	《3つのジムノペディ》第1番			●	●						
51	TAB(タブ)譜の読み方				●						
52	箏二重奏のための 日本のわらべうたつづり			●	●						
53	箏のいろいろな奏法				●						
54	長束祭太鼓			●	●						
55	箏				●						
55	篠笛				●						
56	島人ぬ宝	●	●	●	●						
57	三線				●						
58	春よ、来い	●	●								
59	WINDING ROAD	●	●								
62	Stand Alone	●	●	●							
64	Opera, Operetta, Musical							●		●	●
66	ミュージカル《オペラ座の怪人》							●		●	●
68	All I Ask of You	●	●								
69	The Point of No Return	●	●								
70	Vissi d'arte, vissi d'amore (歌に生き、愛に生き)	●	●								
71	オペラの間奏曲							●		●	
72	メリー・ウィドウ・ワルツ	●	●								
73	I Need To Be In Love (青春の輝き)	●	●								
74	We Are The Champions (伝説のチャンピオン)	●	●								
76	You Raise Me Up	●	●								
77	リメイクとカバー										●
78	Annie Laurie (アニー・ローリー)	●	●								
79	Land Of Hope And Glory (希望と栄光の国)	●	●								
80	ほたるこい	●	●								
82	宇宙戦艦ヤマト	●	●								
85	仰げば尊し	●	●								
86	創作1 体を使った音でストーリーを表現しよう						●				「音楽1」の「内容の取扱い」(5)作品を記録する方法の工夫
88	創作2 ファンファーレをつくろう							●			



